

第4回 フレッシュマンコンサート
Freshman
Concert

Program

1 渕上 真夢 トロンボーン



Eugène Bozza

Ballade

ウジェーヌ・ボザはフランスの作曲家で、様々な分野で数多くの名作を世に残し、主に室内楽の作曲家としてよく知られている。冒頭はバラード調の美しい旋律から始まり、おぼろげな雰囲気がある魅力的である。途中でガラリと展開が変わり、トロンボーン特有のスライドを使ったグリッサンドでの表現や、ジャズのような場面も特徴的である。様々な表情をみせ展開していき、冒頭の雰囲気と比べたらまるで違う曲かのように最後は壮大に閉じられます。

PROFILE

広島修道大学ひろしま協創高等学校出身。トロンボーンを中学1年より始める。ジュニアウインドオーケストラ広島1.2.3期生として所属し、広島市での幅広い音楽活動に多数出演。下野竜也音楽総監督、広島ウインドオーケストラ団員による奏法講習や指揮法など音楽全般の総合講座を受講。これまでにトロンボーンを清澄貴之、福原恭平の各氏に師事。広島文化学園大学学芸学部音楽学科に在学中。

2 藤元 惇 ピアノ



Franz Schubert

Sonata für Klavier Nr.13 A-Dur D 664 Op.120 Mov.3 Allegro

このピアノソナタは1819年に作曲された。後期に作曲された同じイ長調ソナタD959と区別して、「小さなイ長調ソナタ」と呼ばれ、楽章全体に愛らしく優しい雰囲気漂っている。

今回演奏する第3楽章(Allegro)はソナタ形式になっており、軽やかで可愛い旋律が歌われる第1主題と、ウィーンの舞曲を思わせるようなリズムカルな第2主題から構成されている。

第38回中国ユース音楽コンクール予選にて金賞及び本選出場、第16回ベートーベン音楽コンクール全国大会大学院生A部門・連弾C部門入選。その他、ピアノ指導者研究会主催のピアノコンサートin三次、若い芽のコンサート、ヨシオカ楽器主催のハイクラスコンサートなどにも出演。ピアノマスタークラスにおいてE.シュトロッセ、P.ヤブロンスキ一両氏のレッスンを受ける。ピアノを松本絵美、中所得優子、末永雅子氏に師事。

広島大学文学部音楽学科2年在学中。

3 中村 杏実 トランペット

ピアノ／高木 見早



The'o charlier

Solo de Concours

曲者であるThe'o charlierはベルギーのトランペッター・作曲家・教師。コルネットが比較的人気があった時期にトランペットを好んだことで有名である。
この曲は、1900年にパリ高等音楽院トランペット科の最終試験用に書かれた課題作。試験用に書かれただけでなく、様々な技巧が含まれており、躍動感のある作品。

PROFILE

山口県立防府西高等学校出身。小学2年生よりトランペットを始める。第38回中国ユース音楽コンクール最優秀賞受賞。トランペットを白石実氏に師事。現在、広島文化学園大学学芸学部音楽学科在学中。

4 若林 優香 マリンバ

ピアノ／藤元 惇



安部 丰子

プリズム・ラブソディ

この曲は世界的マリンバ演奏家である安倍圭子作曲のマリンバ協奏曲です。冒頭から六本撥、四本撥、二本撥の順でマリンバの技巧が出てきます。中間部で風や草木、鳥や小動物など、自然界を連想させるフレーズや光が射してくる場面を感じていただき、まさに「プリズム」を目や耳で体感していただきたいです。

PROFILE

出雲北陵高等学校出身。小学3年生から打楽器を始める。マリンバを福場史子氏に師事、広島文化学園大学にて山澤洋之氏に師事。現在、広島文化学園大学学芸学部音楽学科2年に在学中。

5 湊 勇翔 ユーフォニアム

ピアノ／増野 雅美



Philip Sparke

Harlequin

Harlequin(ハーレクイン)とはフランス語で道化師という意味。この曲はイタリアの即興演劇「コンメディ・デラルテ」にインスパイアされた作品で、前半部は劇中の悲しみを表現したゆっくりで切なさを感じるメロディー。後半部は幸せを表現しており、テンポも早く、超絶技巧が聞きどころの聞いていて楽しい作品となっている。

PROFILE

広島県瀬戸内高等学校出身。ジュニアウインドオーケストラ広島第2期生。ユーフォニウムを正田律子氏に師事。現在広島文化学園大学に在学中。